

練習



ぴたトリビア

日本は地震が多い国で、地震が起こると、すばやくスマートフォンなどで地震が来ることを伝える緊急地震速報のしくみが整えられています。

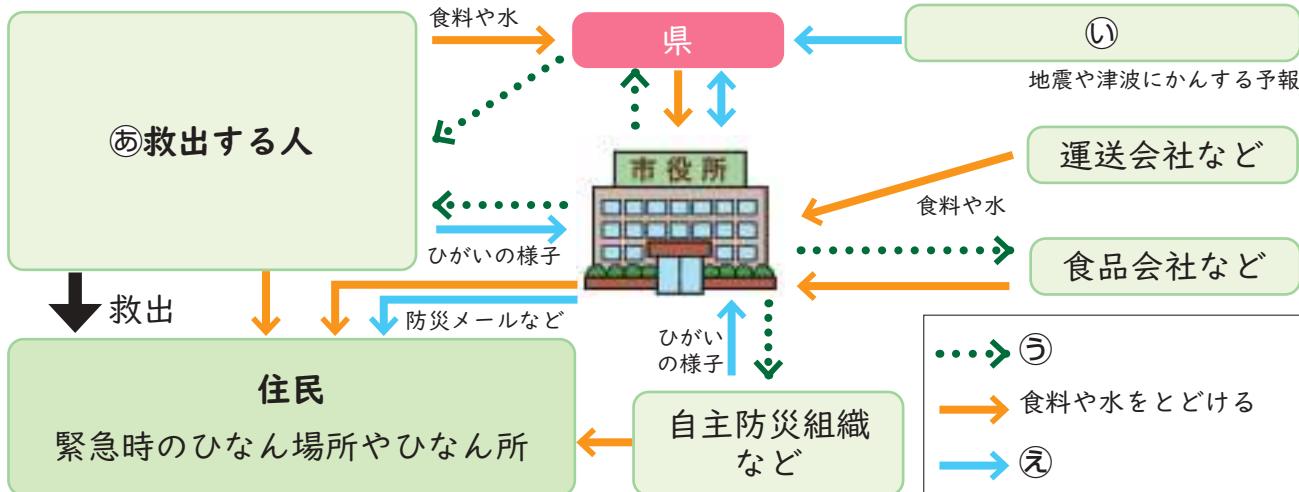
教科書

82～91 ページ

答え7ページ

1

次の図は、地震や津波から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問い合わせに答えましょう。



(1) ④には、警察と消防の人その他に、ひがいが大きいときに、県の求めにより出動する人たちがいます。それらの人たちのいる組しきの名前を答えましょう。

()

(2) ①は、地震や津波にかんする予報などの情報を発信します。この機関の名前を答えましょう。

()

(3) ③と⑤の矢印が表すものを、それぞれ選びましょう。

Ⓐ 救出を行う Ⓑ 情報を伝える Ⓒ 協力を求める Ⓓ 様子を知る

③() ⑤()

2

右の写真は、津波ひなんタワーを表しています。市がこのしせつをつくるときに、考えなくてはいけないことを、3つ選びましょう。

- Ⓐ しせつを置く場所に、津波ひがいのきけんがあるかどうか。
- Ⓑ 近くに鉄道が通っているかどうか。
- Ⓒ 近くに高速道路があるかどうか。
- Ⓓ しせつを置く地域に、どれくらいの住民がいるか。
- Ⓔ 津波が来たときに、どれくらいのひがいが予想されるか。



()()()



① (I) この組しきは、國のもとにおかれています、國を守る仕事をしています。



3. 自然災害にそなえるまちづくり

じしん

地震にそなえるまちづくり②

教科書

92~99 ページ

答え 7 ページ

次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 地震防災センターで調べよう／地域にくらす人々のそなえを調べよう

教科書

92~95 ページ

▶ 過去に起こった地震

- ・ 静岡県では、1498年に起きた(①)地震や、1854年の(②)地震など、1498年から現在までに広いはんいにかけて発生した地震が(③)回あった。

1498年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

▶ 地域でのそなえ

- ・ 自治会では(④)をもっていて、1日分の(⑤)が置かれている。
- ・ 公園には市の(④)もあり、(⑥)やテントなどが置かれている。

① 過去に静岡県内で起こった主な地震

2 身の安全をたしかなものにしよう／地震や津波にそなえて

教科書

96~99 ページ

▶ 身の安全を守る取り組み

- ・ 地域では、高校生が自治会と協力して、3階建ての家の住民に津波が来たときの緊急の(⑦)として使わせてもらえるようにお願いをしている。
- ・ 岩手県釜石市の小中学校では、大地震で津波が発生したら、前もって決めた(⑦)ににげるよう日にごろから(⑧)している。
- ・ 日ごろのそなえだけにたよるのではなく、災害の様子を見ながら、自分でも(⑨)することが大切である。



① ひなん訓練の様子

▶ これからの取り組み

- ・ 調べてきたことをもとに、これからの(⑩)に生かすことが大切。

選んだ
言葉に✓ 判断 安政東海 訓練 防災倉庫 自分の生活 4 食料や水 明応 仮設トイレ ひなん場所

練習



ぴたトリビア

世界には大きな地震が起こらない国もあります。しかし、日本は特に地震の多い国で、防災の取り組みがとてもさかんです。

教科書

92 ~ 99 ページ

答え7ページ

1

右の年表を見て、問い合わせに答えましょう。

- (1) 静岡県の海ぞい地域で、過去に最もひがいの大きかった地震は、安政東海地震です。この地震はいつ起きたでしょう。

() 年

- (2) 東南海地震は、どのようなはんいで起きた地震でしょう。かんたんに書きましょう。

()

- (3) 安政東海地震のあと、東南海地震が起こるまでの年数を選びましょう。

Ⓐ 約20年 Ⓑ 約50年 Ⓒ 約100年 Ⓓ 約150年

()

1498年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

↑ 過去に静岡県内で起こった主な地震

2

右の絵は、公園に置かれている自治会の倉庫の内部です。この絵を見て、問い合わせに答えましょう。

- (1) この倉庫を何とよぶか答えましょう。

()

- (2) (1)の倉庫について、正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。



- Ⓐ () 地域の住民が、いつでも利用できる食料と水が置かれている。
- Ⓑ () 災害時に救援物資がとどくまでの間に必要なものが置かれている。
- Ⓒ () およそ1か月分の食料と水が置かれている。
- Ⓓ () 救急箱や発電機、車いすなども置かれている。
- Ⓔ () 災害はいつ起こるかわからないので、点検はしない。
- Ⓕ () 市の倉庫にはテントなど、より多くの人が使うものが置かれている。



① (3) 2つの地震がいつ発生したのか読み取り、引き算で答えを求めましょう。

たしかめのテスト

3. 自然災害にそなえるまちづくり

じしん

地震にそなえるまちづくり

100

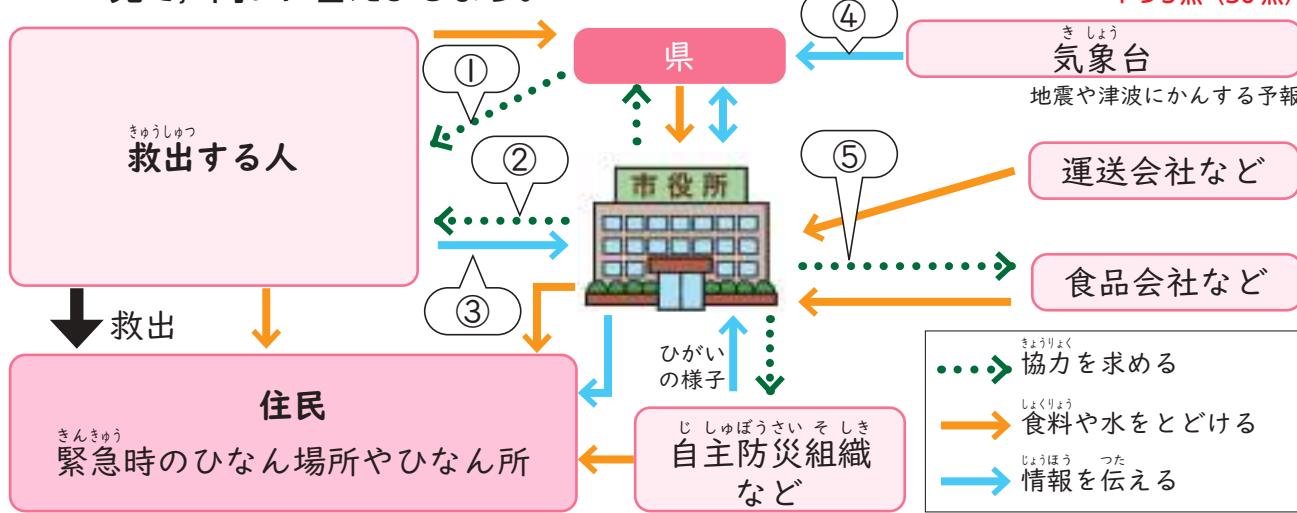
合格 80 点

教科書

82 ~ 99 ページ

答え 7 ページ

- 1 よく出る 次の図は、地震や津波から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問い合わせましょう。



- (1) 図の①~⑤にあてはまるものを選びましょう。

- Ⓐ 海ぞいの地域にいます。ひがいがとても大きいです。
- Ⓑ 間もなく津波が来ます。住民をひなんさせてください。
- Ⓒ 住民の救助をお願いします。
- Ⓓ 自衛隊をはけんしてください。 ①() ②() ③()
- Ⓔ 食料と水を運んでください。 ④() ⑤()

- (2) 市役所が住民に災害の情報を伝えるのに、防災メールの他にインターネット通信を使って情報を共有できるしくみを整えています。このしくみを何というか、アルファベット3文字で答えましょう。 ()

- 2 右の防災マップを見て、次の文の()にあてはまる言葉を、Ⓐ～Ⓔから選びましょう。

技能 1つ5点 (15点)

ここには (1) が多くあることから、津波が予想される地域だとわかります。各学校は緊急時には (2) となり、また、(3) がもうけられる学校もあります。

- | | |
|--------|-------------------|
| Ⓐ 道路 | Ⓑ 津波ひなんタワー |
| Ⓒ ひなん所 | Ⓓ 救護所 |
| Ⓔ () | Ⓐ () Ⓛ () Ⓝ () |



- Ⓐ…津波ひなんタワー
Ⓑ…ひなん所
Ⓓ…救護所

3

右の年表を見て、問い合わせに答えましょう。

技能 1つ5点 (15点)

- (1) 1498年から今にいたるまで、
静岡県では県をまたがる大きな地震が何回起きたか答えましょう。

()回

- (2) 次のⒶ～Ⓑについて、正しいものを2つ選びましょう。

Ⓐ 静岡県は地震が多く、何度も津波のひがいが発生してきた。

Ⓑ 過去に大きな地震が何度も発生したので、これからは大きな地震は起こらない。

Ⓒ 地震防災センターは、過去の災害の経験を今や未来の人に伝え、これからのそなえにする役割がある。

Ⓓ 広いはんいにかけて発生する地震は、50年に一度起こっている。

1498年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

① 過去に静岡県内で起こった地震

()()

4

地震や津波へのそなえについて、問い合わせに答えましょう。

(40点)

- (1) 2人の話の()にあてはまる言葉を、Ⓐ～Ⓕから選びましょう。1つ5点 (20点)



ぼくの家は、柱をくふうして①家にしたり、災害時に必要な②を準備したりしているよ。



わたしたち家族は、災害時の③を決めています。月に一度は④をして、緊急時でもあわてないように準備しています。

- Ⓐ 防災倉庫 ① 点検 Ⓜ ひなん場所 Ⓞ 食料と水
Ⓑ ひなん訓練 Ⓝ 地震に強い Ⓟ 津波に強い

①() ②() ③() ④()

- (2) 記述 地域のハザードマップを見ておくことが、地震や津波から身を守ることにつながる理由を書きましょう。

思考・判断・表現 (20点)



3. 自然災害にそなえるまちづくり
すいがい

水害にそなえるまちづくり①

教科書 100～105 ページ 答え8ページ

次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 水につかったまち／水防学習館で調べよう

教科書 100～103 ページ

▶ 水害とは

- ・(1) ()で川の水量
がふえると、ふだんの川はばでは
ふえた水量にたえられなくなり、
水があふれ、地域の暮らしにえい
きょうをあたえる。

▶ 過去に起こった水害

- ・新潟県三条市では、過去に何度も
水害が起こり、(2)
7.13水害では(3)
なり、(4)
にあった。

1949年	台風により五十嵐川の水が大きくふえる
1956年	市内の二つの川がはんらんする
1961年	8.5集中豪雨
1964年	7.7水害
1978年	五十嵐川の下流で水があふれる
2004年	7.13水害(ふった雨の量が491mmとなる)
2011年	7.29水害(ふった雨の量が959mmとなる)

↑ 三条市で過去に起こった水害

(三条市役所)

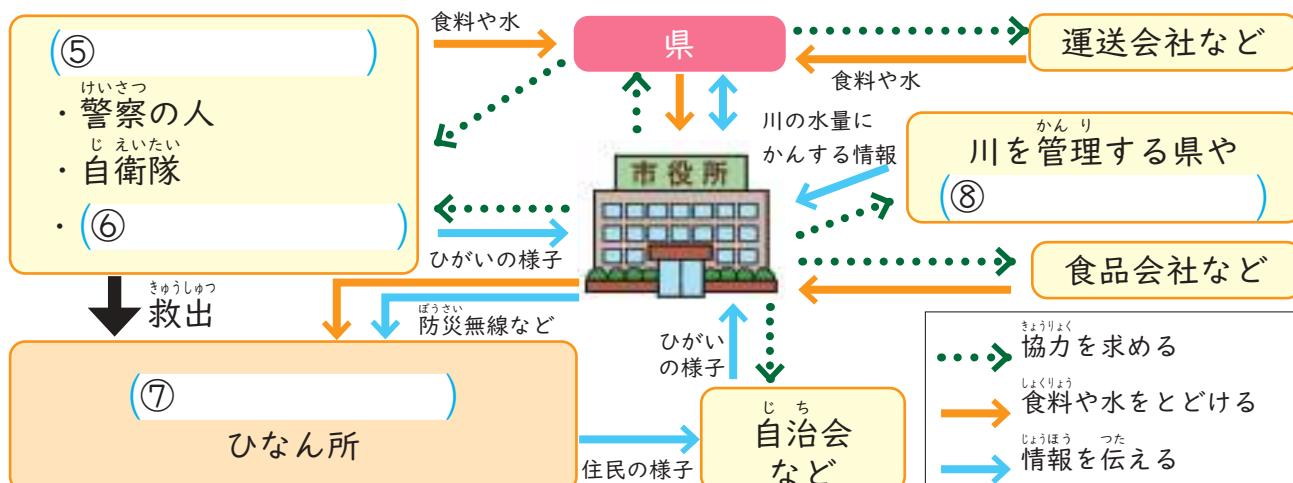
	2004年	2011年
なくなった人の数	9	1
ひがいにあった家の数	10935	4228

↑ 過去に起こった水害によるひがい

2 市役所へ行って調べよう

教科書 104～105 ページ

▶ 水害から住民を守るしくみ



- ・水害の発生が予想されると、市や県などの関係機関は(9)にしがって災害対策本部をもうけて、(7)を守るために行動する。

選んだ
言葉に✓

国土交通省 大雨
 地域防災計画 住民

救出する人
 消防や水防団の人

2004 9
 10935

練習



ぴたトリビア

日本の川は流れが急で短いのが特徴です。そのため、多くの川でダムがつくられ、水害が起きないように水量を調整しています。

教科書 100～105ページ 答え8ページ

1 右の年表を見て、問い合わせに答えましょう。

- (1) ①8.5 集中豪雨と②7.13 水害
が起きた年を答えましょう。

①()年
②()年

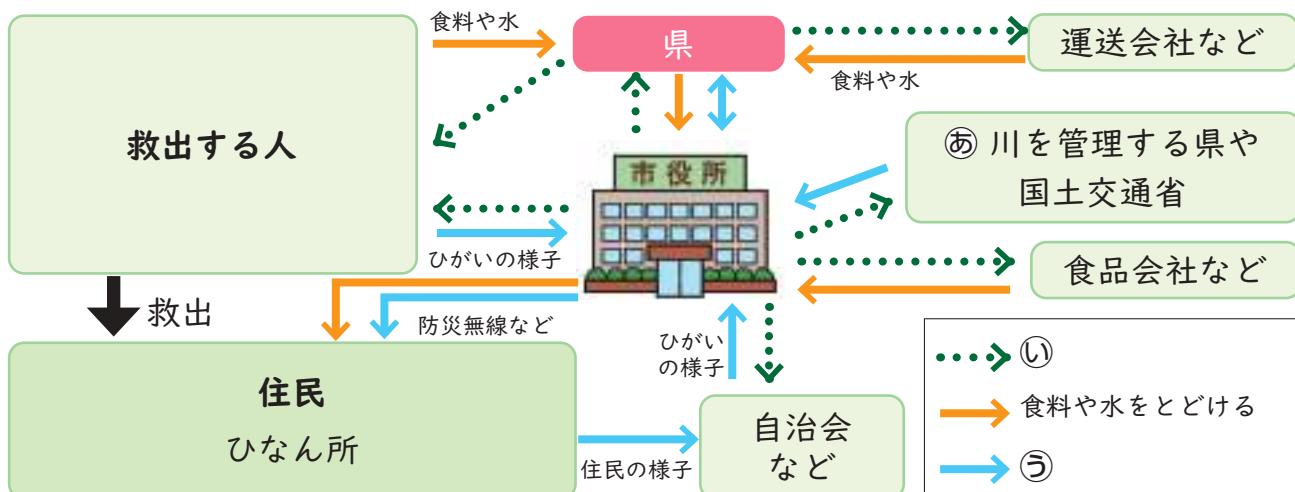
- (2) 1960年から2011年の間に何回の水害が起きたか答えましょう。

()回

1949年	台風により五十嵐川の水が大きくふえる
1956年	市内の二つの川がはんらんする
1961年	8.5集中豪雨
1964年	7.7水害
1978年	五十嵐川の下流で水があふれる
2004年	7.13水害(ふった雨の量が491mmとなる)
2011年	7.29水害(ふった雨の量が959mmとなる)

↑ 三条市で過去に起こった水害

2 次の図は、水害から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問い合わせに答えましょう。



- (1) ④から市に伝える情報を選びましょう。

- Ⓐ 住民の人口や男女の割合など Ⓛ 川の水量や流れの様子
Ⓑ 過去の水害のひがいのようす Ⓜ 必要な食料や水の量 ()

- (2) ④と⑤の矢印が表すものを、それぞれ選びましょう。

- Ⓐ 救出を行う Ⓛ 情報を伝える Ⓜ 協力を求める Ⓝ 様子を知る
④ () ⑤ ()

- (3) 水害の発生が予想されるときの市や県の動きについて、次の文の()にあてはまる言葉を答えましょう。

市は、④()計画にしたがって、⑤()本部をもうける。



- ④ (2) 水害が起こると、市は関係する機関から必要な情報をえて、協力を求めます。



3. 自然災害にそなえるまちづくり
すいがい

水害にそなえるまちづくり②

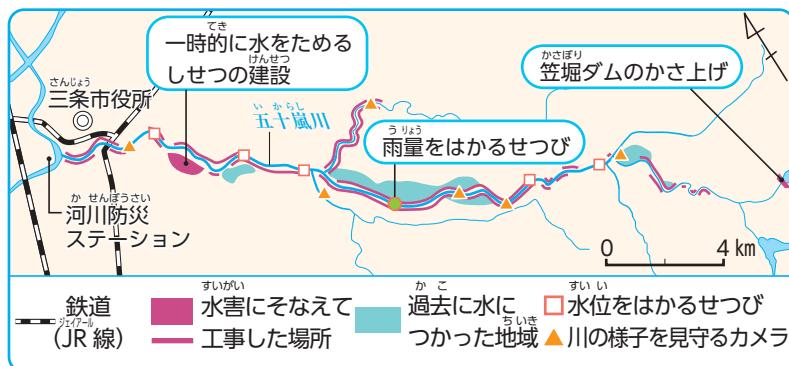
教科書 106～111 ページ 答え 8 ページ

次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 ひがいがくり返されないために

教科書 106～107 ページ

- 市は県と協力して、五十嵐川の(①)の一部を広げる工事を行った。また、川の水を一時的に(②)をつくった。
- さらに、国と協力して(③)をつくった。
- 市と県は、「まるごとまちごとハザードマップ」という取り組みを進め、川がはんらんしたときにつかると予想される水の深さや、過去の水害でつかった水の深さを(④)にして、住民の水害に対する意識を高めようとしている。



↑ 五十嵐川の水害にそなえる取り組み

2 地域の住民の取り組み／水害にそなえて

教科書 108～111 ページ

水防活動

- 地域の消防団は、水害が起こると川のていぼうに(⑤)を積んだり、住民を(⑥)したりする。
- 消防団員は水害にそなえるために、(⑦)の道具の点検や(⑧)を速く積む(⑨)を行っている。
- 地域では、住民と市、県、国が合同で(⑩)を行っている。

土のうとは、
土などを入れ
たふくろのことだよ。



↑ 水害時の土のうを積む作業

住民の取り組み

- 水害について書かれている市の広報パンフレットを集めたり、家の取り組みをきいたりすることが大切である。

選んだ
言葉に

土のう
 救助

標識
 川はば

ためるしせつ
 ひなん訓練

水防倉庫
 河川防災ステーション

練習



ぴたトリビア

日本では昔から各地で川のはんらんが起きていました。よくはんらんを起こして、農地やまちをあらす川を「あばれ川」とよびます。

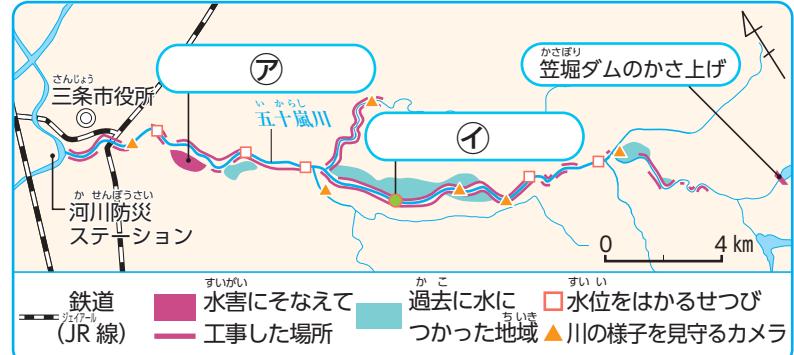
教科書 106～111ページ 答え8ページ

1 右の地図を見て、問い合わせに答えましょう。

(1) 次の①・②にあてはまる
しせつやせつびを、地図の
Ⓐ・Ⓑからそれぞれ選びま
しょう。

Ⓐ 雨量をはかるせつび
()

Ⓑ 一時的に水をためるし
せつ
()



↑ 五十嵐川の水害にそなえる取り組み

(2) 市役所の人が水防について話しています。次の文の()にあてはまる言葉を、Ⓐ～Ⓑから選びましょう。



市は県と協力して、水害にそなえてⒶを広げる工事を行いま
した。また、市役所の近くにⒷをつくり、ひがいをおさえるた
めの行動がすばやくとれるようにしています。

Ⓐ 道路 Ⓑ ダム Ⓒ 川はば Ⓓ 河川防災ステーション

Ⓐ() Ⓑ() Ⓒ() Ⓓ()

2 地域の住民の水防活動について、正しいものには○を、まちがっているものに は×をつけましょう。

Ⓐ() 水害のひなん訓練は中学生まで行い、おとなは参加しない。^{さんか}

Ⓑ() 消防団では、土のうを速く積む訓練を行っている。

Ⓒ() ひなん訓練は、水害が起こったあとに行われる。

Ⓓ() 市と県は、過去につかった水の深さを標識にして、住民の水害に対する意識を高めようとしている。



③ 水害はつゆや台風の時期に多く起こります。水害にそなえるためには、いつひなん訓練を行ったらよいか考えましょう。



3. 自然災害にそなえるまちづくり

ふんか

火山の噴火にそなえて／雪の災害にそなえて

教科書 112～115 ページ

答え 8 ページ

次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 火山の噴火にそなえて

教科書 112～113 ページ

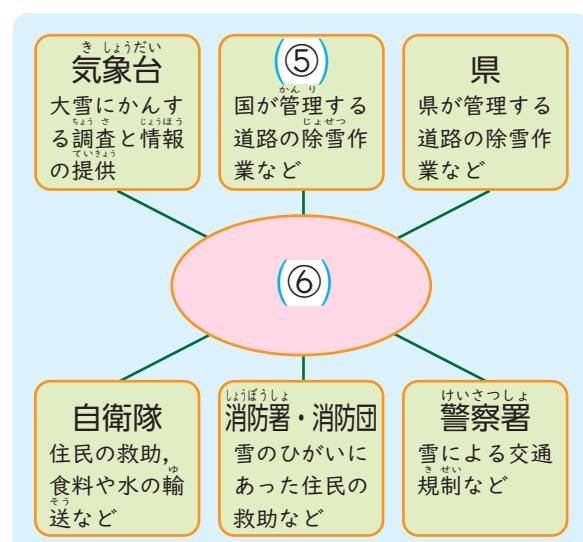
- 火山が噴火すると、市はまわりの町と協力して、火山防災計画や(1)にもとづいて、ひなんや(2)活動を行う。
- 噴火時には、サイレンを鳴らしたり、緊急(3)を配信したりして、ひなんをよびかける。
- 火山のある市や町の住民は、火山の噴火にそなえるため、国土交通省、警察署(4)，自衛隊など⑩をこえる関係機関とともに、合同でひなん訓練を行っている。



2 雪の災害にそなえて

教科書 114～115 ページ

- 市は、雪の災害が発生すると、県や気象台、(5)，自衛隊などと協力して、(6)を設置する。
- 住民にひがいが出たときは、関係機関と協力して救助を行う。
- 市は雪の災害にそなえるために、(7)などで大雪への注意をよびかけたりする。
- 地域では自主防災会を中心に、協力して(8)や雪おろしを行う取り組みもある。



① 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ

選んだ
言葉に✓

国土交通省

災害対策本部

雪かき

気象台

救助

メール

ハザードマップ

防災メール

練習



ぴたトリビア

豪雪地帯では家屋がおしつぶされることがあります。雪の重さは、雪質によりますが、重いときには1m³で500kgにもなります。

教科書 112～115ページ 答え8ページ

1 右の図を見て、問い合わせに答えましょう。

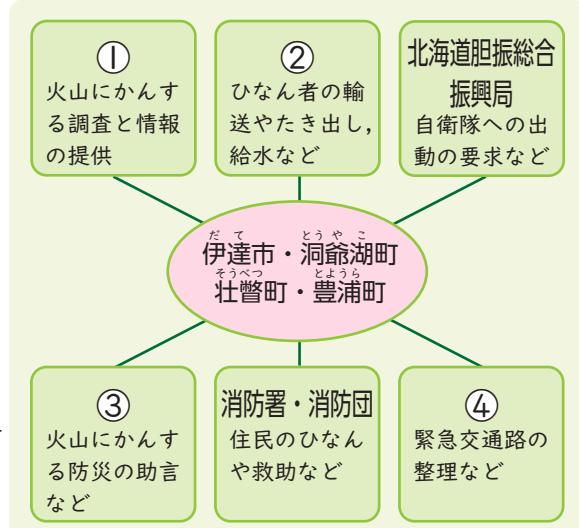
(1) 図の①～④にあてはまる機関をそれぞれ選びましょう。

- | | |
|-------|---------|
| Ⓐ 警察署 | Ⓑ 火山専門家 |
| Ⓒ 自衛隊 | Ⓓ 気象台 |

①() ②()
③() ④()

(2) 図の4つの市と町が火山の噴火にそなえて行っている取り組みとして、まちがっているものを1つ選びましょう。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| Ⓐ 合同でひなん訓練をしている。 | ↑ 北海道の有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割 |
| Ⓑ 協力してハザードマップを作成している。 | |
| Ⓒ 噴火が起こると、別々の行動をとるようにしている。 | |
| Ⓓ 国の機関とも協力して防災活動を行っている。 | () |



2 右の図を見て、問い合わせに答えましょう。

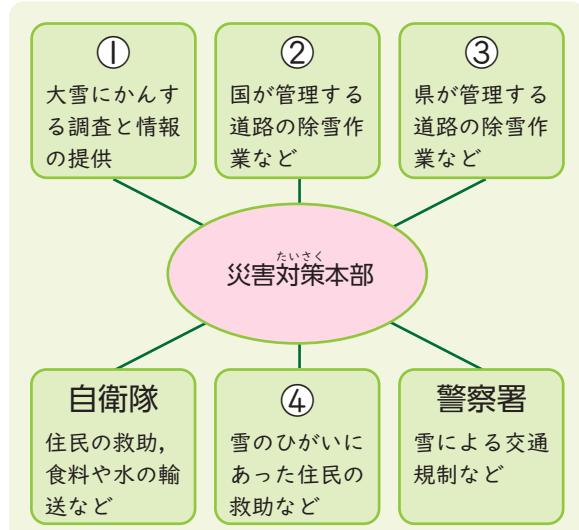
(1) 図の①～④にあてはまる機関をそれぞれ選びましょう。

- | | |
|---------|-----------|
| Ⓐ 県 | Ⓑ 気象台 |
| Ⓒ 國土交通省 | Ⓓ 消防署・消防団 |

①() ②()
③() ④()

(2) 雪の災害に対する市の取り組みについて、まちがっているものを1つ選びましょう。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| Ⓐ 雪の災害が発生すると、市は県、国と協力して住民を守る。 | ↑ 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ |
| Ⓑ 災害が起こると、住民の救助は自衛隊だけが行う。 | |
| Ⓒ 地域の自治会に小型の除雪機を出ししている。 | |
| Ⓓ 集めた雪を置く場所などの情報を広報紙で伝えている。 | () |



①②

災害に対して、市や町はどのような機関と協力するのか考えましょう。

たしかめのテスト

3. 自然災害にそなえるまちづくり
すいがい

水害にそなえるまちづくり

100

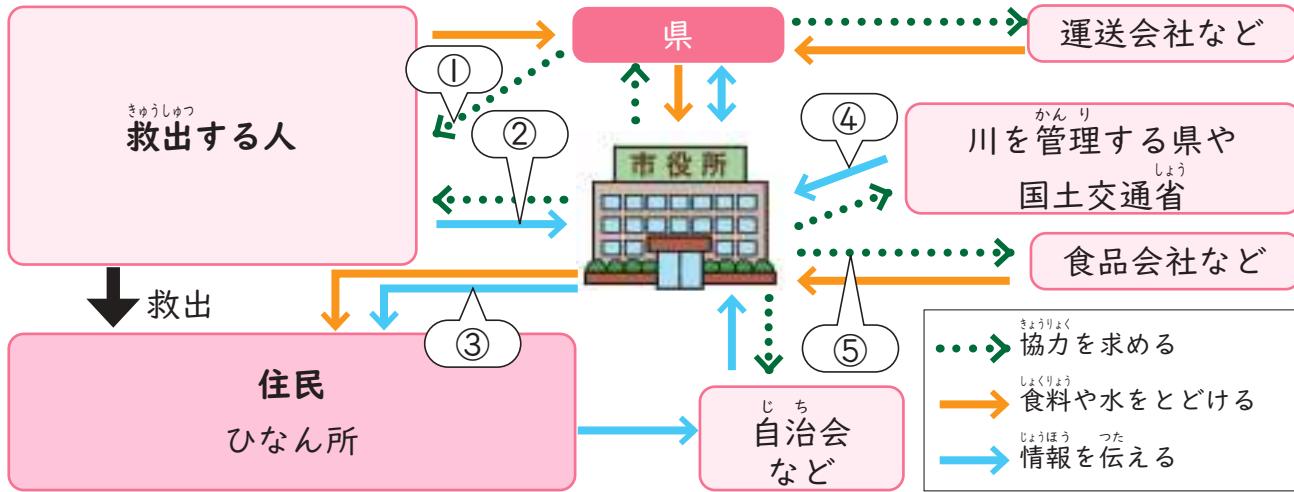
合格 80点

教科書 100~111 ページ

答え 9 ページ

- 1 よく出る 次の図は、水害から住民を守るしくみを表しています。図の①～⑤にあってはまるものを見ましょう。

1つ10点 (50点)



- ア 下流のていぼうがこわれました。すぐに住民の救出に向かいます。
 イ 大雨で川の水位が上がっています。この先も長く雨がふる見込みです。
 ウ 小学校の体育館がひなん所となります。すぐにひなんしてください。
 エ 自衛隊をはけんしてください。 ①() ②() ③()
 オ 食料と水を運んでください。 ④() ⑤()

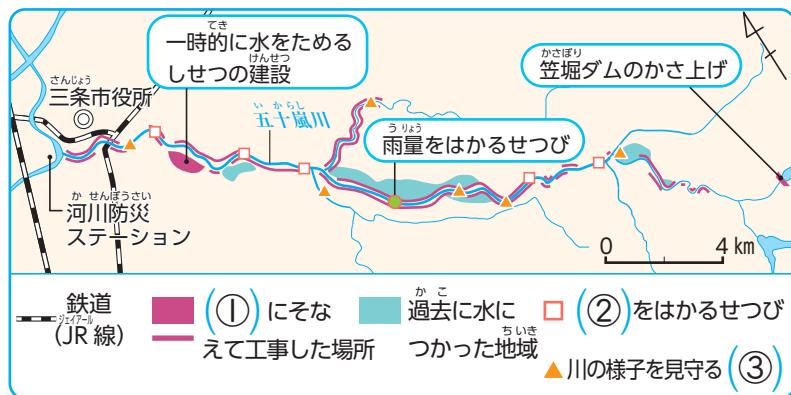
- 2 右の地図を見て、問い合わせに答えましょう。

(50点)

- (1) 地図の①～③にあてはまる言葉をそれぞれ選びましょう。 1つ10点 (30点)

- ア カメラ ① 水害
 ウ 水防 ② 水位

- ①() ②()
 ③()



- ↑ 五十嵐川の水害にそなえる取り組み

- (2) **できたらスゴイ!** **記述** 右の絵は、過去の水害でまちがつかった水の深さをしめす標識です。市がこの標識を置く理由を答えましょう。

思考・判断・表現 (20点)



たしかめ のテスト

3. 自然災害にそなえるまちづくり

ふんか

火山の噴火にそなえて／雪の災害にそなえて

50

合格 40 点

教科書

112～115 ページ

答え 9 ページ

1

右の図は、火山噴火の防災のしくみを表しています。この図を見て、問い合わせましょう。

- (1) よく出る ①～④のはたらきをする機関を、図のⒶ～Ⓔから選びましょう。

- ① ひなん者の輸送やたき出し、給水など
- ② 火山にかんする防災の助言など
- ③ 火山にかんする調査と情報の提供
- ④ 緊急交通路の整理など

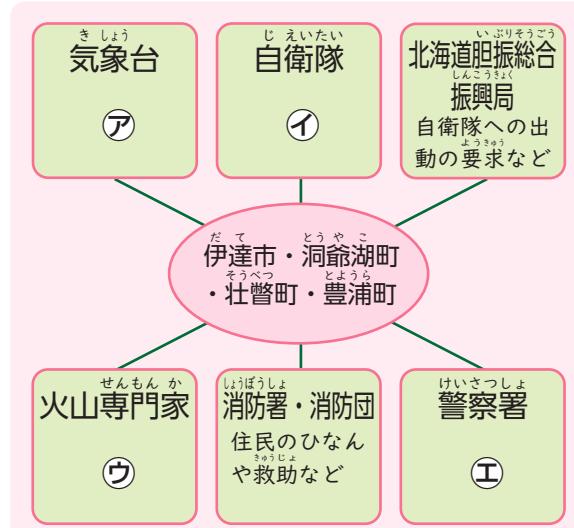
- Ⓐ () Ⓛ ()
Ⓑ () Ⓝ () Ⓞ () Ⓟ ()

- (2)  記述 市で行う救助活動が、ハザードマップをもとに行われる理由を答えましょう。

思考・判断・表現

()

学校で学習する内容によって
1・2を選んで取り組みましょう。



↑ 北海道の有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割

2

右の図は、大雪の防災のしくみを表しています。この図を見て、問い合わせましょう。

1つ10点 (50点)

- (1) よく出る ①～④のはたらきをする機関を、図のⒶ～Ⓔから選びましょう。

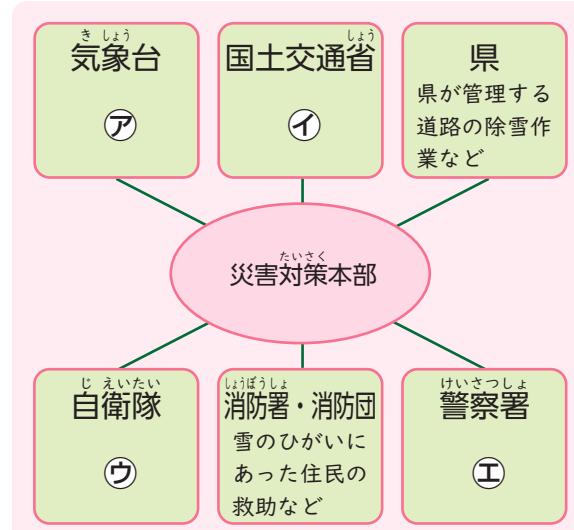
- ① 国が管理する道路の除雪作業など
- ② 大雪にかんする調査と情報の提供
- ③ 住民の救助、食料や水の輸送など
- ④ 雪による交通規制など

- Ⓐ () Ⓛ ()
Ⓑ () Ⓝ () Ⓞ () Ⓟ ()

- (2)  記述 市が除雪ボランティアの方に、雪かきをお願いする理由を答えましょう。

思考・判断・表現

()



↑ 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ

3 自然災害にそなえるまちづくり

ぴったり +1 じゅんび

34 ページ

- 1 ①救出する人 ②自衛隊 ③気象台 ④住民
2 ⑤SNS ⑥身の安全 ⑦ハザードマップ ⑧ひなん所 ⑨津波ひなんタワー

ぴったり +2 練習

35 ページ

てびき

- 1 (1) 自衛隊
(2) 気象台
(3) ②ウ ③イ
2 ⑦, ①, ④

- 1 (1) 自衛隊は、国を守る仕事をする国の組しきです。県から救助の求めがあると現地に行って、人命救助をしたり、必要な食料や水を配ったりします。
(2) 気象台は、天気や地震、津波の観測や予測をする機関です。
2 津波ひなんタワーは、津波が来たときに上げるタワーです。近くに鉄道や高速道路があるかは関係なく、多くの住民がいて、上げるために高台などがない場所につくられます。

ぴったり +1 じゅんび

36 ページ

てびき

- 1 ①明応 ②安政東海 ③4 ④防災倉庫 ⑤食料や水 ⑥仮設トイレ
2 ⑦ひなん場所 ⑧訓練 ⑨判断 ⑩自分の生活

ぴったり +2 練習

37 ページ

てびき

- 1 (1) 1854 (年)
(2) (例) 静岡県から三重県にかけたはんい。
(3) ウ
2 (1) 防災倉庫
(2) ①× ②○ ③× ④○
⑤× ⑥○

- 1 (3) 安政東海地震は1854年、東南海地震は1944年に起きています。その間は90年なので、ウの約100年となります。
2 (1) 防災倉庫の食料や資材は、災害が起きたときに使うものなので、×。
③防災倉庫には、救援物資がとどくまでの間、地域の住民が必要な1日分の食料や水が置かれているので、×。
⑤災害がいつ起きてもまちを守れるように、月に一度は資材の点検を行っているので、×。

ぴったり +3 たしかめのテスト

38~39 ページ

てびき

- 1 (1) ①エ ②ウ ③ア
④イ ⑤オ
エヌエヌエス
(2) SNS
2 ①イ ②ウ ③エ
3 (1) 4 (回) (2) ア, ウ
4 (1) ①カ ②エ ③ウ ④オ
(2) (例) あらかじめ、どこがあぶないか知っておくことが大切だから。

- 1 (1) 地震が起こると、市と県は必要な機関に協力を求め連らくします。
2 地図に津波ひなんタワー (ツ) が多くあるので、この一帯は津波のひがいが予想される地域だとわかります。
3 (2) エ 1700年代から、広いはんいにかけて発生する地震は、100年~150年に一度起きています。
4 (2) 「ハザードマップは、最大の地震や津波にそなえてつくられた地図だから」と書いても正かいです。

ぴったり **1** じゅんび

40 ページ

せんたく

1 ①大雨 ②2004 ③9 ④10935**2** ⑤救出する人 ⑥消防や水防団の人 ⑦住民 ⑧国土交通省 ⑨地域防災計画ぴったり **2** 練習

41 ページ

せんたく

てびき

1 (1) ①1961(年)

②2004(年)

(2) 5(回)

2 (1) ①

(2) ⑤⑥ ⑦⑧

(3) ①地域防災 ②災害対策

1 (2) 1960年から2011年の間には、8.5集中豪雨、7.7水害、五十嵐川の下流で水があふれる、7.13水害、7.29水害の計5回の水害があったことが読み取れます。**2** (1) 國土交通省とは國の役所で、道路や鉄道、川などの管理を行っています。川の水量や水位をカメラで見て、はんらんのきけんがあれば、市に連らくします。ぴったり **1** じゅんび

42 ページ

せんたく

てびき

1 ①川はば ②ためるしせつ ③河川防災ステーション ④標識**2** ⑤土のう ⑥救助 ⑦水防倉庫 ⑧訓練 ⑨ひなん訓練ぴったり **2** 練習

43 ページ

せんたく

てびき

1 (1) ①① ②②

(2) ①⑥ ②①

2 ①× ②○ ③× ④○**1** (1) はんらんなどの水害が多く起こる川には、さまざまな防災のためのしせつやせつびが整えられています。地図から、雨量をはかるせつびの他にも、水位をはかるせつびや川の様子を見守るカメラもあることがわかります。**2** (1) 地域や学校のひなん訓練は、子どもからお年よりまで、みんなが参加して行われるので、×。
(3) 水害にそなえるためのひなん訓練は、水害の起こりやすいいつゆや台風シーズンの前に行うことが多いので、×。ぴったり **1** じゅんび

44 ページ

せんたく

てびき

1 ①ハザードマップ ②救助 ③メール ④気象台**2** ⑤國土交通省 ⑥災害対策本部 ⑦防災メール ⑧雪かきぴったり **2** 練習

45 ページ

せんたく

てびき

1 (1) ①① ②⑥ ③① ④②

(2) ⑥

2 (1) ①① ②⑥ ③② ④①

(2) ①

1 (1) ③噴火については、専門家の意見を聞いて、市や町は防災活動を行います。

(2) ②火山の噴火時には、火山のある市と町だけではなく、県（道）や国と協力して住民を守ります。

2 (1) ① 気象台は大雪の警報を出すなど、防災につとめます。
(2) ④ 大雪でひがいが出たとき、住民の救助は自衛隊の他にも、消防署や消防団が協力して行います。

ぴったり+3 たしかめのテスト

46 ページ

せんたく

てびき

① ①工 ②ア ③ウ ④イ ⑤オ

② (1) ①イ ②工 ③ア

(2) (例) 住民に、水害に対する
意識を高めてもらうため。

① ①～⑤の矢印が、どこからどこへの連らくなのかをも
とに考えましょう。

② (2) 電柱にかかけられた標識には、過去の水害でまちが
つかった水の深さが書かれています、住民がこれを見る
ことで、日ごろから水害に対する意識を高めてもらう
ようにしています。ここでは、水害に対する意識を高
めるくふうであることが書いてあれば正かいです。

ぴったり+3 たしかめのテスト

47 ページ

せんたく

てびき

① (1) ①イ ②ウ ③ア ④工

(2) (例) 災害によるひがいの予
想がつくため。

② (1) ①イ ②ア ③ウ ④工

(2) (例) お年よりなど、一人で
雪かきができない人がいる
から。

① (2) 「ハザードマップは、最大の噴火にそなえてつくら
れた地図だから」と書いても正かいです。

② (2) 一人ぐらしのお年よりなどの中には、家の前など生
活で使う場所の除雪をするのは大変な方がいます。そ
こで、市はボランティアに雪かきをたのんで、住民が
安心してくらせるようにしています。ここでは、一人
では雪かきができない人がいることが書いてあれば正
かいです。